

西みずほ台3丁目町会
町会長 鈴木せつ子さん



**女性の視点で
地域をまとめる**

市内55町会の中で唯一の女性町会長である西みずほ台3丁目町会の鈴木せつ子さん。男性のリーダーシップとは異なる和気あいあいとした町会運営で地域を盛り上げてきました。

「女性の方が声をかけやすいというところはあるかもしれない。まちは歩くといろいろな人が応援してくれるんですよ。」今ではそのように語る鈴木さんですが、周囲の推薦で町会長となった当初は、慣れない仕事で苦労したと言います。それでも地域のリーダー役として、お祭りや資源回収などの地域活動を進めてこられたのは、町会の皆さんのフォローがあったからこ

そ。鈴木さんは「女性は家事があつて大変だけど、人とのつながりを大切にし、一歩踏み出せばみんながカバーしてくれる。また、男性向きと思われる活動でも、女性だからこそできることがある。柔軟な考え方で物事に取り組むことで、地域の理解が得られるのだと思います。」と語られました。

女性ならではの取り組み方が地域の新たな魅力を引き出します。



西みずほ台3丁目町会のお祭り



**富士見市消防団
女性団員**

上段左から、石山孝子さん、角屋寿妙子さん
下段左から、菅原史子さん、小柏由美子さん(班長)、永井浩江さん

**キラリ☆と輝く
女性のチカラ**

問合せ／人権・市民相談課 ☎073

これから日本が豊かで活力ある社会を実現するためには、男女ともに個性と能力が十分に発揮されることが重要です。

本年4月1日に女性活躍推進法が施行され、女性がさらに活躍できる社会へ歩み始めています。市でも男女共同参画を推進し、女性の管理職や審議会委員などの割合を上げていく取組みを行っています。

本特集では、市内でさまざまな分野で活躍する女性をピックアップしてご紹介します。

女性の活躍が地域を守る

火災時の消火活動や安全確保、風水害時の土のう積みや避難誘導だけでなく、災害への備えや啓発活動などにたずさわる消防

**多様な働き方で
仕事も家庭も充実**

市内の企業「ワックデータサービス(株)」は、県の「多様な働き方実践企業認定制度」において、平成27年度にゴールドに認定されました。同社はフレックスタイム制や短時間勤務制度を積極的に導入しつつ、女性の活躍には男性の家庭での活躍も重要ととらえ、男女ともに制度の活用を促してきました。

その経緯について、専務取締役の澤田達人さんは「社員には仕事と家庭を両立できるように時間を有効活用してほしい。何より大切な社員は1人も欠かしたくないですから」と語られました。

制度面の整備のみならず、昼休憩中の一時帰宅を認めるなど、子育て中の女性が働きやすい職場環境づくりに取り組んできました。

また、制度を利用しやすい雰囲気があることも重要な要素です。

「上司が率先して制度を利用してくれるので、社員もとても利用しやすいです。」そう語るのは研究開発部に所属する田島春美さん。3人のお子さんがいる田島さんは、同社のフレックスタイム制などを利用しながら、

団。男性ばかりの印象がありますが、市内では5人の女性団員が活躍しています。女性団員は、防火意識啓発イベントや防災訓練への参加、火災報知器普及などのための戸別訪問、救命講習会での指導などが主な活動です。

「女性なのにもありますが、と言われることもありますが、男性だと身構えられてしまうような活動においても、柔らかな親しみやすさといった接し方ができる女性団員の存在は大きいです。」と語るのには、女性団員の班長を務める小柏由美子さん。戸別訪問では、1人暮らしのお年寄りも女性団員が訪問すると安心して扉を開けてくれたり、主婦の方と同じ目線で話ができるのとことで、女性ならではの接し方で地域の防災力の向上に貢献できるのが女性団員の強みです。地域での救命講習会などでも、女性団員からの説明だと緊張が和らぎ、参加しやすいと好評とのこと。女性団員がいることで消防団と地域住民、そして地域住民同士のコミュニケーションがより豊かになります。普段から助けあえる仲間が地域にはたくさんいるん

だと感じてもらうことは地域の防災力の向上にも活きてくると思います。」と語られました。

小柏さんを含め、女性団員の皆さんは家庭と仕事を両立しながら消防団にたずさわっています。生活時間の調和には苦労があるようですが、中には自身の活動に影響されて消防団を志しているお子さんがいる方もいて、やりがいと充実感でいっぱい母親の姿は家庭への好影響につながっていると感じているとのことです。

市の病児・病後児保育施設の支援も活用し、仕事に子育てに全力投球中。しかし、前職では「前例がないから」という理由で育児休暇の取得を断られ、退職を余儀なくされたことがありました。

一度は仕事を辞めた田島さんですが、やはり仕事もしたいというところで、女性が働きやすい職場を探し、同社へ入社しました。

「最初はパート採用でしたが、仕事に認められ、正社員に登用されました。今は子育てでも仕事も頑張りたい人が多いと思います。会社の制度や自治体の支援を利用することで、時間を有効に活用し、仕事も家庭も充実させることができます。子育て中の女性でもキャリアアップできることを身をもって示していきたいです。」と田島さんは語られました。

男女ともに個性と能力が十分に発揮できる環境づくりが、豊かで活力ある社会の実現につながります。



戸別訪問を行う消防団員

ワックデータサービス(株)
ニット製品の生産機械に搭載される制御装置と電子部品の開発・製造・販売

専務取締役
澤田達人さん

研究開発部
田島春美さん